

超高感度煙検知システム VESDA-E

Honeywell

微量の煙を早期に発見し、設備の損傷、物的損害、または業務の混乱を最小限に抑える

HPC、生成AI、ネットワーク機器などの高発熱化で早期の予兆保全が大切になります。
VESDA-EはFlair™検出テクノロジーによって、低濃度でより早く高精度に煙濃度を検知できます。

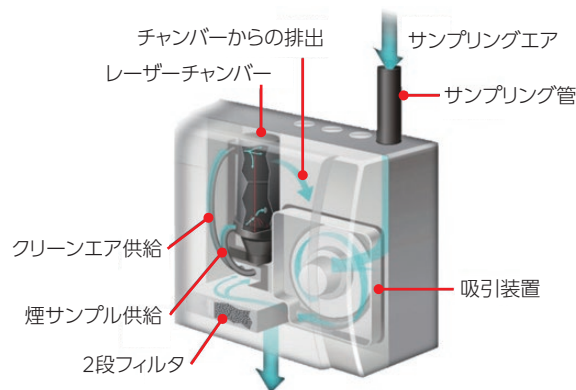
- ▶ 火災の初期段階に発生する煙を検知し、設備・資産の損害や業務の混乱を防止
- ▶ Flair™検出テクノロジーは、33万個に相当するセンサと洗練されたアルゴリズムを使用して、煙の検知と粒子の種類の特性評価を実施
- ▶ 検知箇所に敷設したパイプから空気を吸引し、検知器内のレーザーチャンバーで検知
- ▶ パイプから吸引した煙を機器本体に送り検知するため、ハザードエリアや電源が取れない場所への設置も可能
- ▶ クリーンエア機構を有しており、光学検知部を汚濁から守り長期安定を確保
- ▶ 多様な通信プロトコルでDCIMと連携し予兆監視が可能
- ▶ 分散クラウドやエッジデータセンターでリモート監視にも最適



仕様

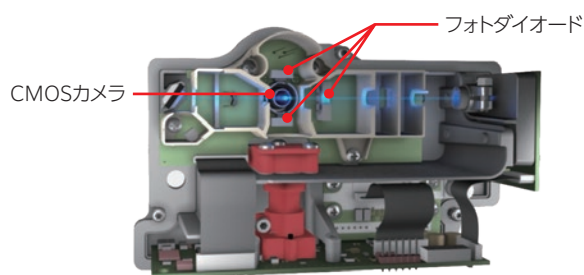
最小アラーム値	0.005%/m 0.001%/m (VEUのみ)
最小検知値	0.001%/m
動作温度範囲	環境: -20℃~55℃ サンプル: -20℃~60℃
動作湿度範囲	5~95%RH(結露なきこと)
通信	Modbus, Ethernet, Wi-Fi, USB, リレー, VESDA-Net
その他	Airflow fault alarm Smoke/Flow Auto Learn

クリーンエアフィルター詳細



- ▶ クリーンエア供給技術によりチャンバー内部を常に洗浄しているため、長期にわたり感度補正をせずに高感度に煙を検知

チャンバー内部(Flair™検出テクノロジー)



- ▶ Flair™イメージセンシングとは3個のフォトダイオードを組み合わせた業界初の技術で、異なる視点から散乱光を測定します。CMOSカメラがサンプリングされた粒子を直接撮像することで、数千個のセンサと同等の機能を提供
- ▶ Flair™イメージセンシングとCMOSイメージングを組み合わせることで粒子タイプの特性評価を可能にし、煙粒子とホコリを見分け、迷惑アラームを抑制

接続パイプ詳細



- ▶ 4パイプまたは40チューブの入力を持ちトータルコストを最適化
- ▶ 1つのチャンネルでHVACをモニターすることで、周辺空気品質変化によるノイズ排除を行いアラーム精度が向上
- ▶ Model VESではどのパイプから煙がきたのかを判定しインシデントの位置を特定可能

VESDA-E VEP / VES

VEPIは、VESDA-Eシリーズの標準モデルで4つのアラーム（警戒・警報・火災1・火災2）を設定可能です。また従来オプションの対応だったEthernetポート等も標準装備しています。

VESは、煙を検知した際に、煙濃度の一番高い配管を選別することで、煙発生エリアが特定できる製品です。VESも4つのアラーム（警戒・警報・火災1・火災2）を設定可能です。



品番	VESDA-E VEP	VESDA-E VES
感度範囲	0.005~20.0%/m	0.005~20.0%/m
接続パイプ数	1~4パイプ	4パイプ

上記製品は一部抜粋です。VESDAに関する詳細な仕様は別途お問い合わせください。

コントロール
ドキュメント

テレワーク
ソリューション

液浸
システム

冷却
機器

センタ
データ

UPS

DCIM
構築

給電
システム

試験と
解析支援

ラック
ソリューション

楽
TOOLS